

公募開始以降の質問事項及び回答

No.	公募内容に対する質問事項	回答
1	様式1では教育パッケージとしての目的や到達目標を記入する箇所がありますが、パッケージで提供された科目の中から好きな科目だけを選択して受講することも可能ということでもよろしかったでしょうか。単位付与は科目ごととありますのでパッケージの科目全てを履修することはマストではないが、全てを履修した場合の到達目標を記入することでもよろしいでしょうか。	御認識のとおり、履修者にパッケージとしての履修を必須とはせず、科目単位での履修を想定しており、パッケージの目的や到達目標は、全てを履修した場合のものになります。また、各大学において、履修証明プログラムのようにパッケージの科目をすべて履修することに付加価値を持たせることもありうるかと思えます。
2	・加点事項の採点時の取扱い(加点方法等)についてご教示ください。(審査要項P4)	申し訳ありません、1月17日付で審査要項を修正させていただいておりますので、そちらをご確認ください。
3	事業実施(単位等の付与)は事業の評価があるまでとありますが、一方で、事業終了後も、JV-Campusが使用権を持ち使用することができる、とあります。これは、事業評価後は、JV-Campus上で開講する科目の運用を大学の判断で停止してよいが、JV-Campusが利用権を用いて利用する場合、その運用はJV-Campus側で行うという理解でよいでしょうか。(公募要領P4)	大学が公開を停止したすることを希望する科目をJV-Campusが使用する場合、その運用はJV-Campus側で行うことを想定しています。その上で、その運用上、作成大学に協力等を得たいこと等が発生した場合には個別に相談をさせて頂くことがあります。また、JV-Campus側の運用においては、1パッケージ単位ではなく、1単位や1コンテンツの部分使用や、他の動画やコンテンツと組み合わせて利用することなども想定しています。
4	念のため確認させていただきたいのですが、講師を依頼した学外の有識者等に対して、謝金の支出が可能でしょうか。(公募要領P17)	可能です。
5	予算繰り越しの方法はどのような手続きを想定されていますでしょうか。また、令和6年度末まで延長が可能となる見込みでしょうか。	実質的な経費の配分が早くとも3月中になってしまいますので、形式的に一度繰り越しとして、返納いただき、実質的に令和6年度中に執行いただくことを想定しています。
6	計画調書2の様式下部に、大学名と申請タイプを記載する箇所がありますが、申請タイプはどのように記載すればよいでしょうか。または、削除してよいでしょうか。	申請タイプについては、記載いただかなくて結構です。
7	本公募のコンテンツの動画を撮影する目的で実施するサマーコース等のプログラムについて、他の展開力同様に、学生支援のための経費として本事業の予算を使用することは可能でしょうか。また、可能な場合、他の展開力事業と同様に、補助対象経費の総額を30%を超えてはならない、等の制限があるでしょうか。	今回の経費執行においては、学生支援は含むことができませんのでご了承ください。